

優れた道産品を台湾へ

～苫小牧港から冷凍混載輸送サービスを提供します～ 後援:JETRO 北海道

北海道の優れた農水産品や加工品等の輸出を一層拡大するためには、大口貨物の海上コンテナ輸送に加え、小ロットの貨物輸送に対応可能な「小口混載輸送サービス」の提供が求められています。

このため当社は、苫小牧港利用促進協議会による支援事業を活用して、2021年4月から2022年3月まで毎月1回、苫小牧港から台湾基隆港に向けて、定期的に小口貨物の冷凍混載輸送サービスを提供いたします

ご利用されたい方、ご興味のある方は、弊社ホームページ及び以下の相談窓口に、ご遠慮なく、お問い合わせ・ご相談ください。



<輸出スケジュール 苫小牧－台湾／基隆>

	2021年									2022年		
OPEN日	4/19	5/24	6/21	7/19	8/23	9/16	10/18	11/19	12/13	1/24	2/18	3/18
CUT日	4/21	5/26	6/23	7/21	8/25	9/21	10/20	11/24	12/15	1/26	2/22	3/23
出港日	4/26	5/31	6/28	7/26	8/30	9/27	10/25	11/29	12/20	1/31	2/28	3/28
入港日	5/6	6/10	7/8	8/5	9/9	10/7	11/4	12/9	12/30	2/10	3/10	4/7
CFS着	5/7	6/11	7/9	8/6	9/10	10/8	11/5	12/10	12/31	2/11	3/11	4/8

<お問い合わせ/ご相談窓口>

ナラサキスタックス株式会社 札幌支店 国際営業部 国際営業課

担当：加藤、山本、飛島

TEL：011-261-7889 FAX：011-241-0730

(ホームページ) <https://www.narasaki-stax.co.jp/>

<BOOKING 窓口>

イーキューワールドワイド株式会社 業務グループ

担当：カスタマーサービス

TEL：03-5643-3600

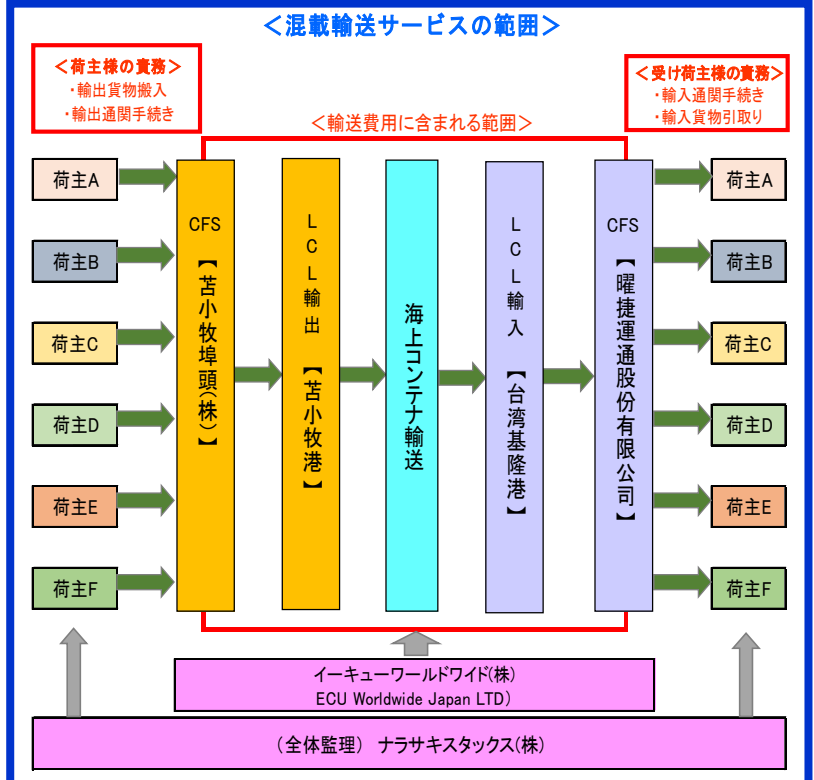
<主な輸送条件>

▼混載輸送サービスの範囲

- ・ 苫小牧港 CFS（苫小牧埠頭（株）勇払倉庫）の荷受けから、台湾基隆港 CFS（曜捷運通股份有限公司）の荷渡しまで

▼輸出入手続き

- ・ 輸出通関手続きは、荷主様で対応願います（当社は輸出通関手続きが可能です、お困りの場合は、ご相談ください）
- ・ 台湾での輸入手続きは、現地の受け荷主様にて対応願います



▼貨物の基本条件

- ・ 日本、台湾で禁輸でないこと、陸上・海上輸送法の危険品でないこと
- ・ 動植物検疫等特殊な規定のないこと
- ・ 冷凍輸送温度（-20℃を想定）に適していること
- ・ 海上輸送（輸出）に適した梱包が行われていること
- ・ 混載輸送を行う際、他の貨物に悪影響を与えることがないこと

▼貨物の単位/重量条件

- ・ 貨物は、「RT（REVENUE TON）」（重量と容積の大きい方）単位（ミニマム：1 RT（1m³ or 1,000kg））
- ・ 重量は、単体で 2,000kg 以内
- ・ サイズは、長さ：300cm 以下、幅：220cm 以下 高さ：220cm 以下

▼コンテナ船出港日/輸出手続き

- ・ 出港日は毎月最終週の月曜日を予定しますが、気象海象条件等により変更になる場合がありますので、当社ホームページでご確認ください
- ・ なお、通関及び書類、CFS 入庫は最終前週の月曜日～水曜日とします

▼リードタイム

- ・ 苫小牧港出港から台湾基隆港入港まで 9 日間を想定しています

▼輸送費用

（内訳）海上運賃：1RT 当たり USD210、PSS：USD12（変動制）、CFS CHARGE：JPY12,000/RT、B/L FEE：別途